

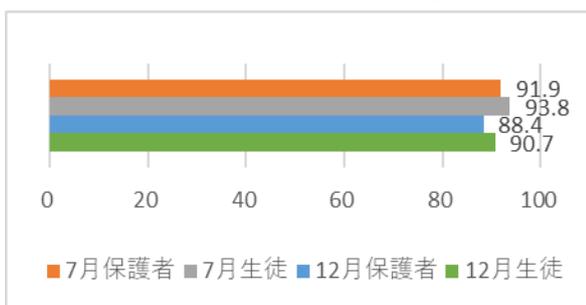
令和7年度 本校の教育活動に関するアンケート（12月実施） 集計結果

【結果の見方】

- ・（ ）内は、同一の内容を生徒に実施した際の文章です。
- ・グラフは、肯定評価（よくあてはまる・あてはまる）と回答した数をパーセンテージで表しています。
- ・設問番号が連続になっていないのは、学校側の整理番号のためです。

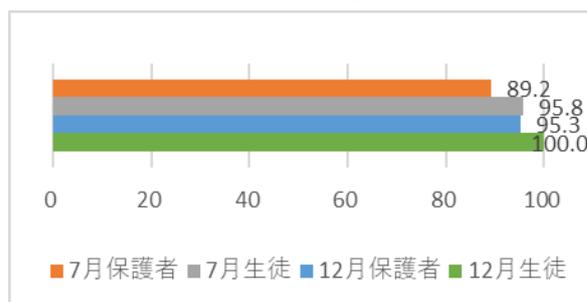
② タブレットなどを効果的に使い、わかりやすい授業づくりに努めていると感じますか。 （授業でタブレットなどを使い、わかりやすく教えてくれていると感じますか。）

【ICT 教育推進教師を中心としたタブレット端末の効果的活用を図る校内研修の推進、市教委主催の各種研修への取組、etc.】



⑤ ICT 機器を効果的に活用し、生徒の情報活用能力を高めるような指導がされていると感じますか。 （ICTを活用し、わからないことがあったときにすぐ調べることができたり、自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができていると感じますか。）

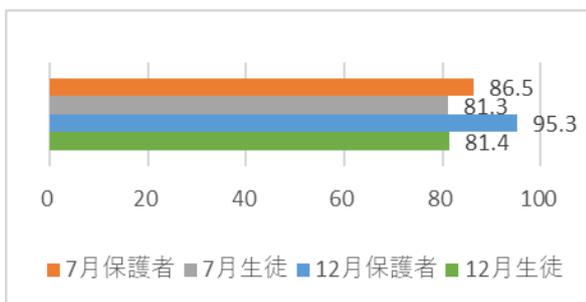
【全ての教育活動におけるタブレット端末の効果的活用、日常の持ち帰り及び家庭学習における活用の質的向上、etc.】



③ 家庭との連携を図りながら、生徒の家庭学習や生活習慣の改善に向けた取組が推進されていると感じますか。

（学習時間やゲームする時間等、時間を意識した家庭学習や生活習慣が身についていると感じますか。）

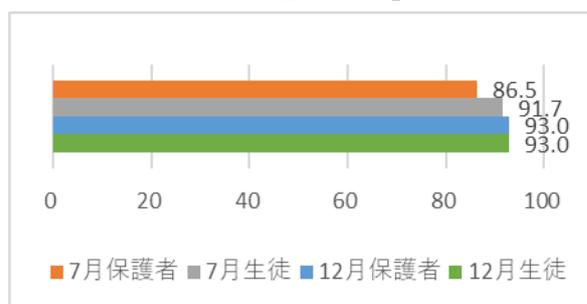
【学力向上係を中心とした「家庭学習友の会」の活用、家庭学習強化週間、各種計画表の作成や提出期限の遵守等の時間を意識した指導、指導部だよりの配布、アウトメディアに関する取組、携帯・スマホ安全教室の開催、etc.】



⑥ 目標・目的を明確にし、「存在感・承認・貢献」のある集団づくりを意識した教育活動が推進されていると感じますか。

（学校生活を通して、認められ、価値がある存在であると感じますか。）

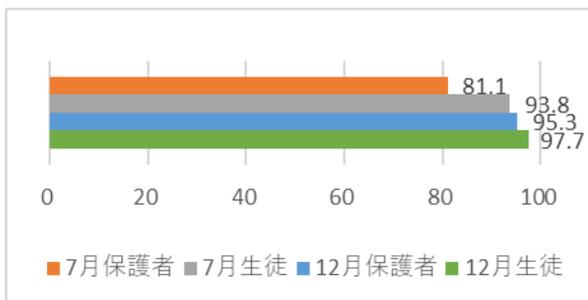
【目標・目的を明確にした各種行事の推進、「存在感・承認・貢献」のある集団づくり、主体的・対話的で深い学びによる授業、自主的・自治的な活動を促す生徒会活動や学級活動の活性化、etc.】



⑦ 道徳科を中心として、教育活動全体を通じた道徳教育の充実が図られ、道徳性を高める指導がされていると感じますか。

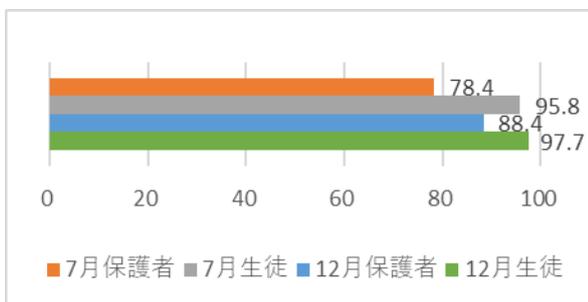
(道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると感じますか。)

【道徳科を軸にした道徳教育の充実、「ほっと」等を活用した教育相談の推進、副担任も含めた全職員による授業の実施、etc.】



⑧ 家庭・関係機関との連携に努め、いじめなどの人間関係のトラブルや、不登校について組織的に取り組むことができていると感じますか。(いじめなどの人間関係のトラブルを起こさないように取り組んでいると感じますか。)

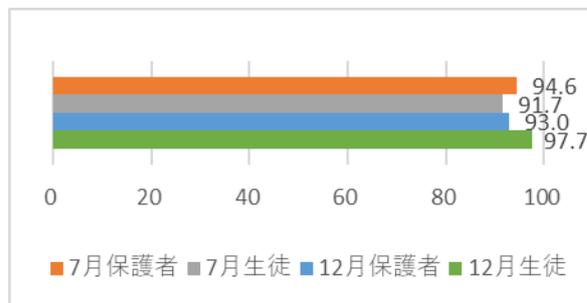
【いじめ・不登校対策委員会の定例開催および組織的・迅速な対応、生徒理解研修の充実および理解シートを活用した情報共有の徹底、自殺予防に向けた SOS の出し方を意識した授業実践、年 5 回のいじめアンケートの実施、教育相談(年 2 回)、生徒会主催によるいじめ防止活動、いじめ防止基本方針の HP 公開、スクールカウンセラーとの連携、教育委員会や関係機関との連携強化、etc.】



⑨ 自然災害や事件、事故等から身を守るための方法について理解を深める教育活動が進められていると感じますか。

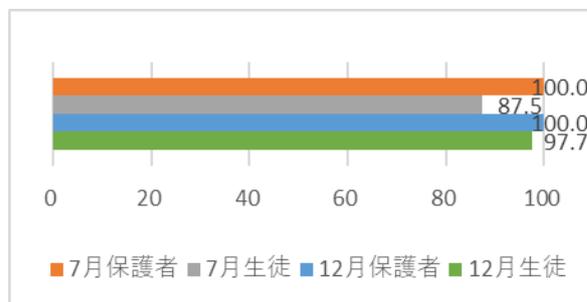
(災害や事件、事故等から身を守る意識が向上していると感じますか。)

【地震・津波・噴火などから身を守るための学習・避難訓練、携帯・スマホ安全教室、非行防止教室、薬物乱用防止教室、etc.】



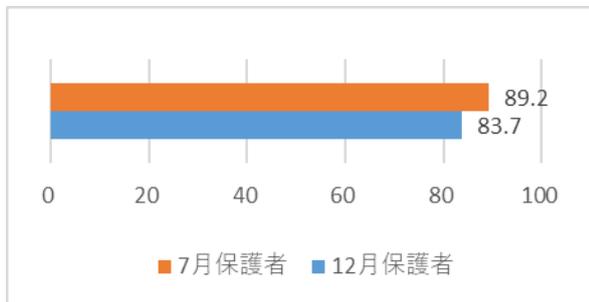
⑩ 地域資源や地域人材を活用した体験活動を重視し、ふるさと登別のよさを知り、理解を深める教育活動が進められていると感じますか。(地域の人々や学校外の施設を活用した体験活動やふるさと登別のよさを知る学習をしていると感じますか。)

【郷土芸能「熊舞・鬼みこし」の取組、地域おこし協力隊による講話、地域人材を活用した職業講話、職業体験学習、薬物乱用防止教室、etc.】



⑪ 特別な配慮が必要な生徒に対し、特性を理解したり情報を共有するなど、指導や支援に工夫がされていると感じますか。

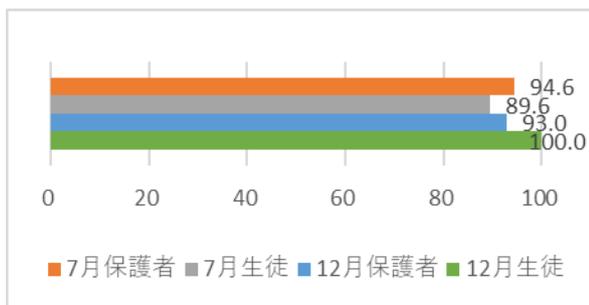
【特別支援教育コーディネーターを中心とした校内研修の充実、教育支援委員会の定例開催、etc.】



⑫ 生徒の自発的・主体的な成長、発達する過程を支える教育活動が進められていると感じますか。

（自分たちの力で学校生活をよりよくする取組ができていますと感じますか。）

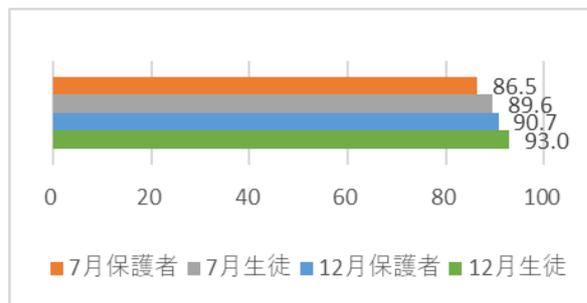
【目標・目的を明確にした生徒会行事や委員会活動の推進と振り返り、自主的・自治的な活動を促す生徒会活動や学級活動（生徒会オリエンテーション、生徒総会、専門委員会、共同募金活動、学校祭、町内クリーン作戦、いじめ撲滅集会、3年生を送る会、各種係・当番活動）の活性化、etc.】



⑬ 難しいことでも失敗を恐れずに挑戦する場の設定を意識した教育活動が進められていると感じますか。

（難しいことでも失敗を恐れずに挑戦する学習ができていますと感じますか。）

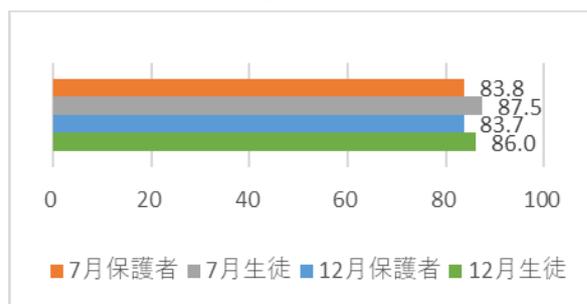
【スモールステップを積み重ねる適切な課題設定と乗り越えさせるための支援活動と励まし、主体的・対話的で深い学びによる授業、etc.】



⑭ 生徒が家庭学習の時間や内容について、より良くしようと工夫することができるように指導や支援がされていると感じますか。

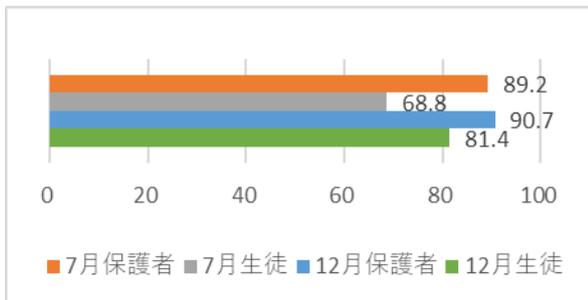
（家庭学習の時間や内容について、より良くしようと工夫できていると感じますか。）

【学力向上係を中心とした実態に応じた学習課題内容の提示、学力向上係を中心とした「家庭学習友の会」の活用、家庭学習強化週間、各種計画表の作成や提出期限の遵守等の時間を意識した指導、etc.】



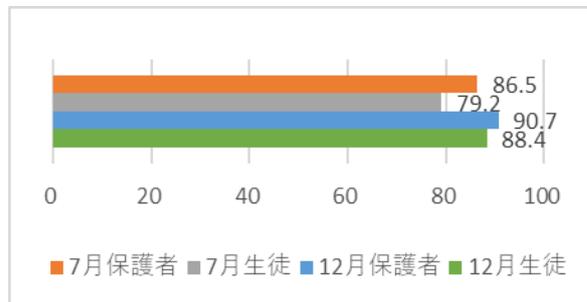
- ⑮ 9年間の系統性を意識し、小学校や家庭と連携した取組が推進されていると感じますか。
（小学校や家庭と連携した取組が進められていると感じますか。）

【年2回の小中合同研修会の充実、出前授業、家庭学習強化週間の連携、新入生体験入学、特別支援交流、etc.】



- ⑯ 生徒の進路について、系統的に情報共有し、適切な指導や支援がされていると感じますか。
（自分の将来や進路を考えるための学習が進められていると感じますか。）

【職業調べ、職業講話、職場体験学習、専門学校訪問、高校説明会、高校体験入学、etc.】



今回のアンケート結果より

- 前回（7月）のアンケート結果と比較し、保護者の回答では14項目中8項目でポイントが上がり、4項目でポイントが下がりました。（変動なしが2項目）また、生徒の回答では13項目中10項目でポイントが上がり、2項目でポイントが下がりました。（変動なしが1項目）
- 前回のアンケートでは保護者と生徒の意識に開きが見られていた、いじめ・不登校等への組織的かつ迅速な対応とSC・SSWとの連携強化（⑧）と、9年間の系統性を意識した学習・生活習慣の改善（⑮）については、どちらもポイントが上がり、両者の開きは小さくなりました。
 - ・ ⑧については、いじめアンケートの実施に伴うその後の対応、日々の学校生活や教育相談等での生徒との関わりや保護者への適切な情報提供等、細やかな対応に努めた結果と考えています。また、⑮についても、アウトメディアウィークの取組を行った結果、生徒が自身の学習・生活習慣を改めて見つめ直した結果と考えています。
 - ・ 多方面からのアプローチを含め、特にスクールソーシャルワーカー（外部機関）の協力を得ながら今まで以上に連携を強化していきます。
 - ・ 幌別中学校と連携した統合準備委員会を通じて、統合後も本校生徒が不安なく自発的・主体的な学校生活が送れるように、交流活動等の実施内容の工夫を図っていきます。
- 生徒の主体性に基づく生徒会・委員会活動の充実（⑫）については、保護者のポイントがわずかに下がったのに対し、生徒のポイントが大きく上がりました。
 - ・ 様々な活動を生徒会総務や各委員会が行っている成果が結果に表れていると考えています。
 - ・ 生徒会活動や学級活動等を通じて、意図的・計画的に自他ともに認め合える「居場所づくり」や「絆づくり」に努め、自己存在感や自己有用感を高める取組の充実を図っていきます。